保護者の皆様へ

令和３年９月１日
龍郷町立龍南中学校
保　　健　　室

新型コロナウイルス感染症の影響が続く中，学校を含めた日常の生活にも、一部に制限があったり，新しい工夫が求められたりする状況が続いております。今までとは違う生活形式に変化していく中で，感染症に対する不安や感染者などへの差別・偏見などが社会問題となっているのも事実です。

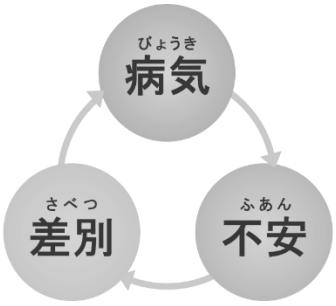
学校でも，感染予防を続けていきますが，新型コロナウイルス感染症には誰もがかかる可能性があることを前提に，身近な誰かが感染してしまったことを考慮した対応も必要となってきています。

そこで今回，日本赤十字社監修の「新型コロナウイルスがもたらす３つの”感染症”」の考え方をもとに、新型コロナウイルス感染症に関する差別･偏見についての資料を載せています。ご家庭でも，子どもたちと語り合うきっかけにしていただけたらと思います。

３つの“感染症”とは？

① **“病気”**そのものの感染症
② **“不安”**という気持ちの感染症
③ **“差別･偏見”**という意識の感染症

この３つの感染症が負のスパイラルとしてつながることで、さらなる感染拡大や，社会問題の深刻化へとつながっていきます。

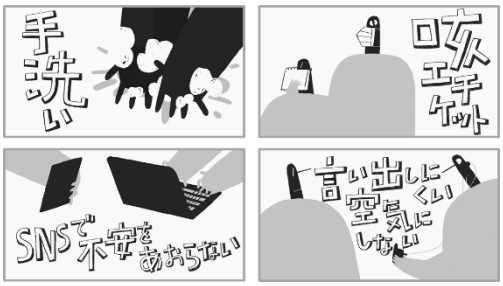


Check　負のスパイラルを断ち切るために私たちができること

❶ **ウイルスの感染をひろげないために…**
まずは 手洗い・咳エチケットの徹底、３密を避け、
自分自身の感染症予防を徹底しておこなう。

❷ **不安にふりまわされないために…**
情報源のはっきりしないうわさ話はしない・広げないこと

❸ **差別や偏見をひろげないために…**
言い出しにくい空気をつくらないこと



新型コロナウイルス～差別・偏見をなくそうプロジェクト～の動画をこちらで限定公開しています。ぜひ，保護者の方もご覧になっていただき，感染症に関わる社会問題についてご家庭でも，話し合ってみてください。

文科省公式
YouTube

感染症から差別や偏見が生まれる理由

人は目に見えないウイルスに対する不安やおそれを，目に見えるものにすり替えます。
感染症にかかった人や，特定の地域・職業の人など，実際に目に見える感染症を連想させる人や場所などを避けたり遠ざけたりする気持ちや行動が「差別や偏見」につながっています。

目では見えないウイルスに対する
不安やおそれ

▼

感染症にかかった人，その家族　地域や学校　を
“敵”とみなして　嫌悪の対象とする

▼

嫌悪の対象を差別して遠ざけることで
つかの間の安心感を得る

新型コロナウイルス感染症を含め，感染症は誰でもかかる可能性があります。
たたかうべき相手は人ではなくウイルスです。感染症への正しい理解と思いやりの心で不安な気持ちを乗りこえましょう。

＼２学期がスタートしました／

ご家庭でも引き続きご協力をお願いします。

〇朝の健康観察のお願い　ご家庭での健康観察いつもありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症予防のため，登校前に，お子さまの様子と体温を必ず確認していただき，もし，37.5℃以上の熱がある場合や咳が出る等，風邪症状がある場合。また，保護者に風邪等の症状がある場合も，しばらくの間子どもさんも登校を控えさせてください。

〇新しい生活様式について

・身体的距離できるだけ2m（最低1m）とりましょう。
・帰ったら手洗い（水と石けんで30秒），顔洗いを励行しましょう。
・外出する際には，マスクの着用をしましょう。
・3つの密を避けましょう。
※密閉（換気のよくない部屋）・密集（たくさんの人がいるところ）・密接（近い距離でマスクなしでの会話等）を避けましょう。

※　本格的に体育大会の練習もスタートします。熱中症予防のためにも，朝ご飯は必ず食べてから登校しましょう。

≪免疫力を高めるために≫
・十分な睡眠　・適度な運動
・バランスの良い食事

新型コロナウイルス感染症のニュースを見ながら，「東京から来ないでほしい」「あそこの人，コロナになったらしいわよ。怖いよね。」など何気なく発した言葉を子どもたちは聞いています。

この感染症に対する大人たちの反応は，子どもたちの受け止め方にも大きく影響します。学校でも，継続して指導していきますが，ご家庭でも子どもたちが感染症への正しい理解のもとに適切に行動できるよう，ご協力よろしくお願いいたします。